

流山市幼児教育支援センター附属幼稚園の廃園方針決定に関する資料

1 流山市幼児教育支援センター附属幼稚園について

(1) 設立

平成24年4月、流山市幼児教育支援センターの研究成果の実践と本市全体への還元という先導的役割を実現するために設置されました。

(2) 概要

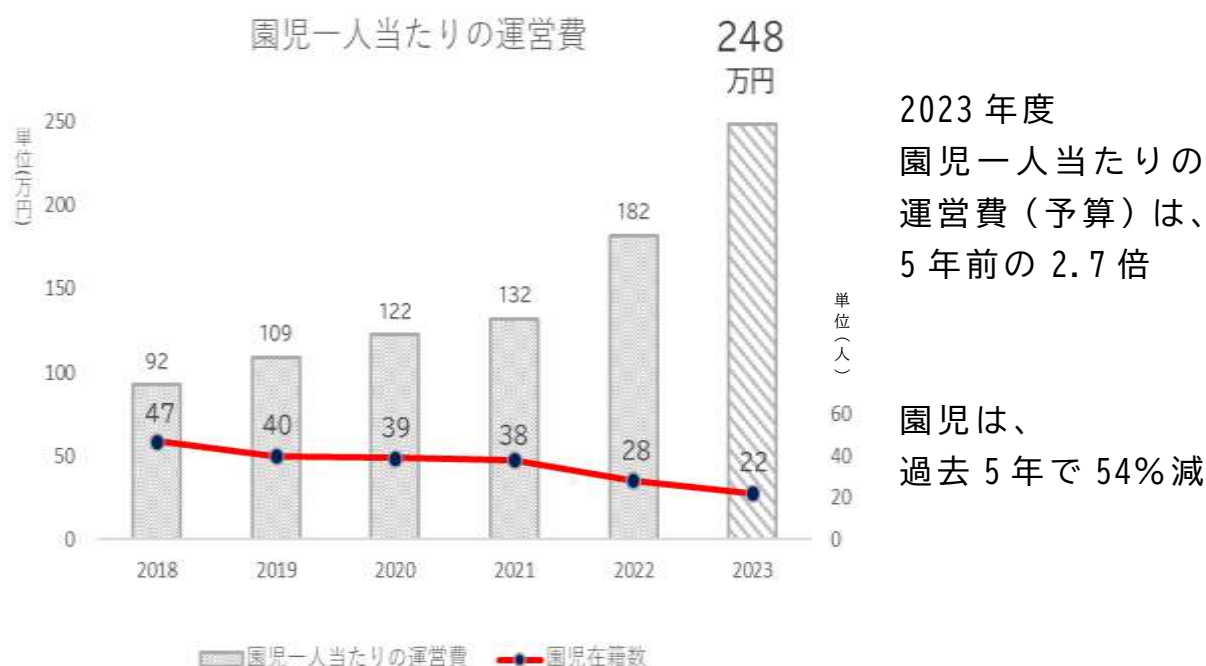
ア 定員 60名（4歳児30名 5歳児30名）

イ 職員 正規職員4名、会計年度任用職員（補助教諭）5名、事務員1名、用務員1名

ウ 保育年数 2年

(3) 園児在籍数と運営費の推移

| 年度 | 園児 在籍数 | 運営費 ※5年度は予算額 | 園児一人当たりの 運営費 |
|------------|-----------|-----------------|-----------------|
| 平成30(2018) | 47人 | 43,425,280円 | 923,942円 |
| 令和元(2019) | 40人 | 43,543,016円 | 1,088,575円 |
| 令和2(2020) | 39人 | 47,708,311円 | 1,223,290円 |
| 令和3(2021) | 38人 | 50,103,701円 | 1,318,518円 |
| 令和4(2022) | 28人 | 50,922,165円 | 1,818,649円 |
| 令和5(2023) | 22人 | ※54,640,000円 | 2,483,636円 |



2 附属幼稚園を取り巻く環境の変化

近年は、幼児教育の無償化や、保護者需要の変化などにより、入園児が年々減少し、令和5年5月1日現在の在籍数は22人、定員充足率は36.7%となっている一方で、人件費や物価の上昇により、園の運営費は年々増加し、今年度の運営費（予算額）は5,464万円、園児一人当たりでは248万円となっています。

附属幼稚園では、2・3歳児を対象としたプレ保育「のびのび」や、在園児を対象とした預り保育などにも取り組んでいますが、園児は過去5年で54%減少しています。

3 附属幼稚園の状況（令和5年5月1日現在）

附属幼稚園では、園児在籍数が減少している一方で、特別な支援を必要とする園児の割合は増加しており、これまでのような幼児教育の実践と提供が困難な状況となっています。

| 年度 | 園児在籍数 | うち支援児在籍数 ※()は園児在籍数に対する割合 |
|-------------|-------|------------------------------|
| 平成30(2018) | 47人 | 12人(26%) |
| 令和元(2019) | 40人 | 14人(35%) |
| 令和2(2020) | 39人 | 14人(36%) |
| 令和3(2021) | 38人 | 9人(24%) |
| 令和4(2022) | 28人 | 9人(32%) |
| 令和5(2023) | 22人 | 9人(41%) |
| 令和6(2024)見込 | 18人 | 7人(39%) |



4 市内私立幼稚園の状況

学校基本調査によると、市内の私立幼稚園9園における近年の園児在籍数は、次のとおり減少傾向にあります。

| 年 度 | 認可定員※ | 園児在籍数※ | 定員充足率 |
|-----------|--------|--------|-------|
| 令和元(2019) | 2,820人 | 2,608人 | 92.3% |
| 令和2(2020) | 2,820人 | 2,625人 | 93.1% |
| 令和3(2021) | 2,830人 | 2,506人 | 88.6% |
| 令和4(2022) | 2,830人 | 2,335人 | 82.5% |
| 令和5(2023) | 2,830人 | 2,190人 | 77.4% |

※学校基本調査より：各年度5月1日現在



近年、認可定員はほとんど変わっていませんが、園児在籍数が減少しているため、令和5年度の定員充足率は、77.4%となりました。

5 これまでの経過

令和5年5月26日：市の推進する幼児教育の方向性、流山市幼児教育支援センター及び附属幼稚園の今後の在り方について、流山市立幼稚園協議会に諮問

令和5年5月26日から同年10月13日：協議会会議を5回開催

令和5年10月13日：諮問に対する答申書提出

令和5年10月26日：教育委員会議にて、附属幼稚園の廃園方針を決定